大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみ

令和２年度　第２０号
令和２年６月１６日

学校教育目標　　ゆめにむかって　えがおいっぱい　みんなでチャレンジ

＜地域と関わる　地域から教わる＞

校外での学習（フィールドワーク）が始まる

先週水曜日、２年生は生活科で鈴木酒造様と道の駅へ、３年生は社会科で大曲消防署へ出かけました。学校の中では決して学ぶことのできない、生のお話を伺うことや実物を見学できるのが大きな魅力です。このように、事業所や公的機関を見学させていただく際、一番大切なことが「あいさつ」、そして「見学マナー（お話の聞き方やお行儀）」。このことについて、２つの学年ともとても立派だったとの情報が届いています。私は３年生とともに行動しましたが、説明をしてくださる方のお話をきちんと聞いて、メモを取る姿が印象的でした。

※　皆さんは、大曲仙北内の消防の組織をご存じでしょうか。次のように分かれています。

大曲仙北広域圏組合消防本部	
大曲消防署	角館消防署
・協和分署 ・西仙北分署 ・西分署(南外) ・東分署(太田) ・南分署(仙南)	・中仙分署 ・西木分署 ・田沢湖分署

※　しっかりとコロナ対策をして、訪問先に迷惑をおかけしないこともマナーですね。

行事予定のお知らせ　学習発表会：9月19日（土）　運動会：10月16日（金）

アオムシ君の底力を見る

３年生では、理科の学習で昆虫の成長の様子を観察します。保護者の皆様もご存じの昆虫「モンシロチョウ」の成長です。キャベツの葉の裏にぽつぽつとくっついている黄色い卵。それが、幼虫、さなぎ、成虫へと完全変態していきます。本校では、さなぎ一つ一つに名前が付けられていました。写真は、**さなぎ１２号**です。

アオムシ君が壁を登り登り、やっと居心地のいい隙間を見つけたようです。かなり色が濃くなってきています。羽化が近そうです。

「観察用植物」、順調に成長

以前、１年生の「アサガオ」について紹介しましたが、２年生の「ミニトマト」も順調に成長しています。（写真）

「アサガオ」はすでに小さなつぼみがついていました。７月に入るころには咲き始めるのではないでしょうか。「ミニトマト」は、なんと種からの育成です。上手なお世話をしてくれていましたから。

１年生のアサガオ

２年生のミニトマト

その１０

本校の歴史をたどる

このコーナーは、本校のこれまでの半世紀をたどり、次の時代にに向けてエールを送るものです。

火災後、長野小学校をどのように再建するか、町ではさまざまな検討を重ねていきました。そして、三月定例議会施政方針で町長さんが次のように述べています。

昭和４４年３月３１日付の広報の２ページめ

長野小の再建は統合で

昨年の暮れに長野小学校が全焼するという不慮の災害が発生し、町民の皆様には大変ご心配をおかけしまして、誠に申し訳なく存じています。新年度の教育行政の中では、この再建が一番大きな事業であり、ここ２～３年経過しますと各小学校とも児童生徒数がだいぶ減少しますので、３校あるいは４校の統合の形で再建対策を講じたいと考えています。

これまではそれぞれの地区のＰＴＡの方や代表の方々と懇談する機会をもっていますが、学校統合の問題は、ややもすると住民感情の軋轢が生じやすく、こうした紛争の起こらないよう配慮しながら、これを進めてまいりたいと存じています。少なくとも新年度中には用地の整地だけでも完了したいと考えております。学校統合の問題は、どうしても用地の決定が最も重要であり、また非常に難しい問題もございますので、どうか議員各位ならびに教育委員会の方々、町民が一体となって特段のご配慮とご協力をお願い申し上げます。

この火災が学校統合に向けた機運に拍車をかけたのかもしれません。また、「３校あるいは４校」とあることから、清水小も入れた４校での統合も検討されたのでしょうか。

結局のところ、施政方針が述べられた１年後、３校が統合して中仙小学校が誕生します。しかし、その１でも触れたとおり、３校はそれぞれ、長野校舎、鶯野校舎、鑓見内校舎として、２年間を過ごすことになります。